



しーきゃうぶ東海村

『東海村広域避難計画』を策定中

原子力の重大事故発生！ あなたはどうしますか？

第19号

2017年 3月 23日発行

題字：山口敏一（故人）

広域避難計画とは

この『計画』は、一般の災害とは別に、原子力発電所などの重大事故に備えて立てられる避難計画です。東海村内の原子力事業所で、**放射性物質が漏れ出す事故**が発生した時、またはその恐れが高まった場合に、村内にいる人々の放射線による被ばくをできる限り小さくするために、なるべく遠くへ避難（広域避難）してもらう計画です。

村の計画案は、「自家用車で約80キロ離れた3市へ避難」

東海村の皆さんは、自家用車で、高速道路を使い、**取手市、守谷市、つくばみらい市へ避難**することが基本となっています。

これらの避難先は県全体の計画で決まりました。今後、村内どの地区の方がどこへ避難するかといった細かい計画を決めていく予定です。

自家用車で避難ができない方は？ 「一時集合場所から村のバスで」避難

自家用車がない方や運転できない方は、村が用意するバスで避難します。一人暮らしなど手助けが必要で、すでに「**要支援者**」として登録されている方は、**村職員の避難支援で一時集合場所へ集まる**ことになっています。でも、「要支援者」やそれ以外の支援が必要な方の避難をどうするか、支援する人たちはどのように行動するかといった細かい部分はまだ決まっていません。

目次

トピック紹介	1
広域避難計画案に対する村民意識調査の結果	2～3
お知らせ	4

調査してみました！

私たちは、昨年5月に村が実施した意見交換会への参加が少なかったため、村民のみなさんのお考えを調査してみました。

ご協力ありがとうございました。

調査時期：平成29年1月25日～2月24日到着分まで
調査方法：私たちのメンバーが作もなく6つの小学校区の方々1000名に調査票を配布し、返信用封筒で回答を戻していただきました。

回答者数： 192名

<回答者の内訳>（数字は全回答者に対する%）

40代未満	8.9	40代	9.4	50代	13.1
60代	22.0	70代	36.6	80代以上	9.9
男性	64.1	女性	27.1	無回答	8.8
白方地区	27.4	中丸地区	12.1	村松地区	15.3
石神地区	8.4	真崎地区	20.0	舟石川・船場地区	14.7



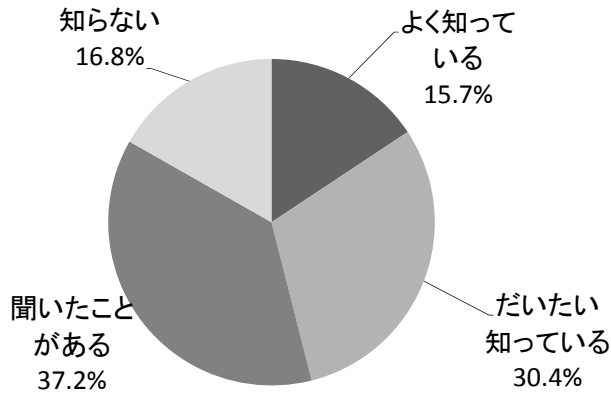
東海村民の避難先は
取手市、守谷市、つくばみらい市
（東海村広域避難計画ガイドブック案より）

東海村広域避難計画案に対する 村民の意識と課題

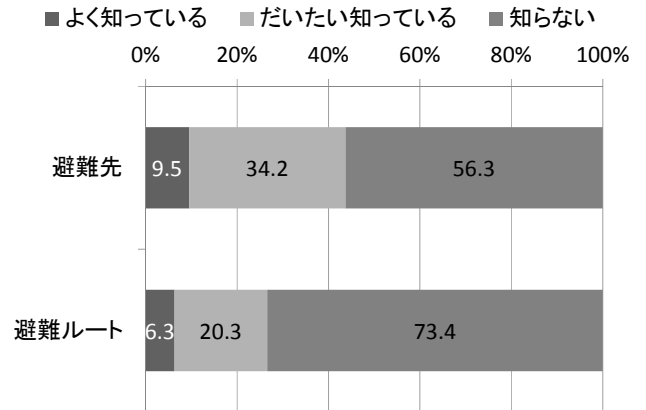
調査結果はホームページ (<http://www.hse-risk-c3.or.jp/>) で公開しています。

広域避難計画案はどのくらい知られているか？

問1 村が原子力災害に備えて広域避難計画案を策定中であることをご存じですか？

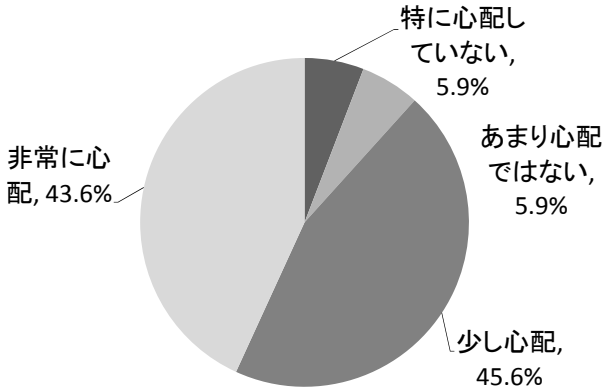


問2 広域避難計画案で知っている内容



「要配慮者」の避難方法は大丈夫か？

問3 「要配慮者」の避難方法についての不安感



「要配慮者」が現在いる人は約23%、将来いる可能性がある人は約14%。そのうち90%近くの人が心配と答えています。

具体的な心配の内容で多かったのは、「高齢で体が不自由」「車の運転ができない」「日中車がない」など、**自力で避難ができない**状況にあることでした。

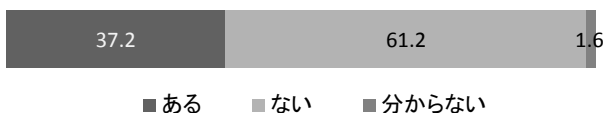
これらの方々は、意見交換会や説明会にも参加できないため、**避難時の支援体制**のきめ細かい情報が求められています。

若い世代では、**妊婦や乳幼児**に対する特別なケア、注意点などの情報が求められていました。

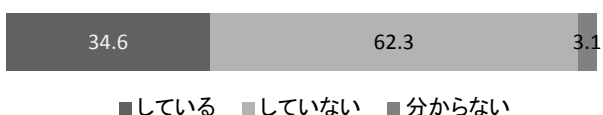
原子力災害への備えは？

問4 災害への備え

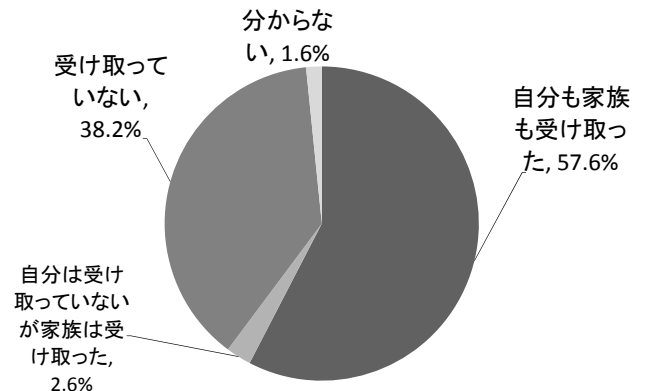
家族や周囲の人との話し合い



非常時持ち出し袋などの災害への備え

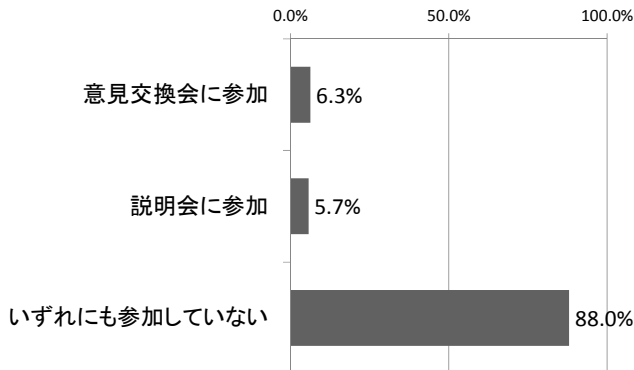


問5 安定ヨウ素剤を受け取ったか



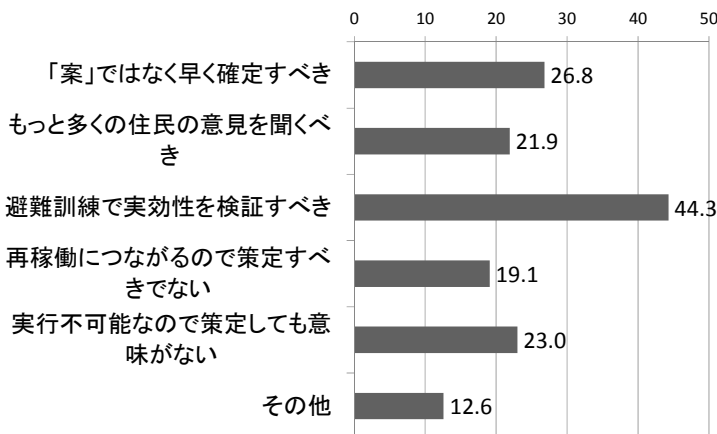
知られていないのはなぜ？

問6 意見交換会や説明会に参加しましたか



意見交換会や説明会に参加していない理由の第一位は「仕事や用事などで時間が合わなかったから」約49%。意見交換会や説明会が開催されることを知らなかったというご意見も多く寄せられました。

広域避難計画案に対する考え



広域避難計画に前向きなご意見の方も否定的なご意見の方も、原発再稼働に賛成の方も反対の方も、**本当に事故が起きたとき、役立つ計画か、実行できる計画か**を心配しておられ、多くのご提案やご意見を寄せていただきました。

今回のアンケートの回答者数は200名不足ですが、意見交換会等に出席されていない方がほとんどで、村がまだ十分に意見を把握していなかった方々のご意見やご心配が寄せられました。私たちは、これらの貴重なご意見を村へ伝え、**より多くの皆さんの意見を踏まえた計画**となるよう、要望していきます。



そもそも原子力災害が起きたことを原子力事業所は迅速に伝えてくれるだろうか？

避難行動などの判断は原子力規制委員会が行うことになっているが、本当に住民のことを考えて迅速に判断し、指示を出してくれるだろうか？ 長期避難時の生活、その後の村民の生活再建、そして村の復興はできるだろうか？・・・原子力防災への疑問は尽きることがありません。あなたはどうかお考えですか？

＜しーきゅうぶ東海村からの提案＞

○今回の調査結果は、広域避難計画に疑問をもっている人や不安を感じている人の声に偏っている可能性があるため、村としても住民全体の意見を把握する調査を行うべきです。

○村は、計画案の意見交換会などに、もっと多くの人に参加できるように、開催頻度、集まりやすい場所、時間帯への配慮、また少人数で話し合える機会などの工夫が必要です。開催案内も早く広く伝えてください。参加が難しい方々にも、様々な人の協力を得て内容を伝え、意見を聞く努力も必要です。内容を分かりやすくした資料を全戸配布しましょう。

○案の段階でも、シミュレーションや実際の避難訓練を行って、実効性ある計画のための検討課題を見出すことが必要です。

○避難先3市と、様々な機会を通じて日頃から交流していくべきです。避難先3市が万一災害に合った場合には、最優先で支援するようにしましょう。

村民の皆さんも原子力防災に関心を持ち、意見交換会や説明会に積極的に参加しましょう。

＜東海村防災原子力安全課より＞

3月1日・5日に村長も出席して行った「東海村広域避難計画策定状況説明会」には、約100名の方にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

「しーきゅうぶ東海村からの提案」にもあり、村では計画策定前に広域避難訓練（要素訓練）を実施したいと考えており、現在、取手市・守谷市・つくばみらい市と調整を行っているほか、計画策定後には全戸配布するガイドブックに基づき説明会を行い、周知に努める予定です。

「しーきゅうぶ東海村」とこれまでの活動について

しーきゅうぶ東海村とは

「しーきゅうぶ東海村」の前身は、「東海村の環境と原子力安全について提言する会」です。この会は、2003年より「原子力技術リスクC³研究：社会との対話と協働のための社会実験」プロジェクトの中心的な活動組織として、原子力事業所とのリスクコミュニケーションを行ってきました。2005年2月にプロジェクトは終了。提言する会の活動を続けていくため、特定非営利活動法人HSEリスク・シーキューブの東海村支部を立ち上げました。

HSEとは、日々の暮らしに関係のあるリスク、健康—Health（ヘルス）、安全—Safety（セーフティ）、環境—Environment（エンバイロメント）のことです。

シーキューブとは、私たちが意識して活動している次の3つのCが、支えあうことで信頼と安心の空間ができるようにとの願いをこめて、立方体を表すキューブと呼んでいます。

地域社会—Community（コミュニティ）
対話—Communication（コミュニケーション）
協働—Collaboration（コラボレーション）

これまでの主な活動

1) 原子力施設の安全対策の視察

原子力施設の安全対策について学ぶとともに、市民の目線で問題点の指摘、要望などを伝える活動です。発電所、研究所、燃料加工会社の視察が一巡しましたが、今後も継続的に行っていきます。トラブルなどが起きた後にも詳しい説明を聞く活動をしています。

2) 原子力防災に関する提言活動

防災訓練に参加し、市民の立場で防災体制の充実に向けた提言を行っています。

※2014年度より、東海村を活動の拠点にしました。

佐藤隆雄(代表理事)



しーきゅうぶ東海村 会員&オブザーバー募集

しーきゅうぶ東海村で活動してみませんか？ 原子力事業所の視察活動では、事業所のご協力の下、事業活動の詳しい説明を受けたり、少人数での施設見学ができたり、安全対策に提案をしたり、原子力安全に関わる機会があります。視察に参加できるのは正会員と活動会員の方です。

正会員	入会金	3,000円	年会費	5,000円
活動会員	入会金	3,000円	年会費	3,000円
個人賛助会員	入会金	2,000円	年会費	1口 2,000円（何口でも）

※入会希望、会員種別変更希望の方は、全体事務局へお問い合わせください。

＜オブザーバー制度を設けました！＞

原子力の安全に関心がある方、しーきゅうぶ東海村の活動に意見を言いたい方、ぜひオブザーバーにご登録ください。会費など費用は一切かかりません。登録いただいた方には、広報誌をお届けしますので、気づいた点などがありましたら、お知らせください。その他、しーきゅうぶ東海村が企画する市民講座や対話活動などについてもご案内します。

しーきゅうぶ東海村の活動予定

原則として、毎月第2水曜日に定例会を行っています。

日時と場所はホームページでご確認ください。

会員以外の方の参加も歓迎します！！

＜お問い合わせ先＞

特定非営利活動法人 HSEリスク・シーキューブ
〒270-1341

千葉県印西市原山2-3-9-602

事務局長：土屋智子

電話 090 (2677)8584 Fax 0476 (47) 2207

メール： office@hse-risk-c3.or.jp

ホームページ： <http://hse-risk-c3.or.jp/>